



11月1日は運動会！



令和7年11月1日発行

園庭の芋畑です

空が高くなり、季節の移り変わりを感じます。園庭の芋畑は葉が茂り、収穫も目前です。
今年の出来はどうか？と少しでも見えているお芋に期待を持ちながら、芋掘りを楽しみにしています。

保育園には保健師(看護師)がいます！って知っていますか？



認可保育園は0歳児を6名以上保育している場合、厚生労働省より看護師の設置を義務化されています。
多摩小ばと保育園には、保健師がいます。その専門知識を活かしながら、子どもたちや職員を支えています！



保健師(看護師)の仕事を紹介

- 1、子どもたちの健康管理
 - ・毎月の身体計測
 - ・視力検査
 - ・予防接種の把握
- 2、職員の健康管理
 - ・健診
 - ・予防接種
- 3、全体
 - ・健康教育 →
 - ・感染症対策
 - ・保健だより
 - ・最新情報の提供
 - ・内科・歯科検診
 - ・園医との打ち合わせ

健康教育とは

*「自分の体は自分で大切にしよう！」と、毎月の身体計測前に子どもたちに体の話しをしています。
11月は「骨の話し～姿勢の話し」を行います。



1人でこれだけのお仕事をこなしています。
まさに、スーパーウーマン！

この他にも、個別のお薬対応や発熱やケガなどの対応
また保護者への連絡や相談・アドバイスなども行っています。



勤務年数
29年！

松木保健師にインタビューしてみました！

◎心がけていることは

子どもたちに対しては、「子どもの最善の利益」を考えて接するようにしています。仕事をする上では「協調性」を大切にしています。子ども・保護者職員に対しても自分の【ものさし】で見ない事も心掛けています

◎嬉しかったこと

子どもの成長を感じることができた時は、いつも嬉しい。歩行がゆっくりだった子が歩き始めた時、毎年歯科検診で泣いていた子が自分から口を開けて診てもらった時等々…それぞれの子どもの成長を保育士と共有して一緒に喜べた時は嬉しさも100倍！

◎大変なことは？

保健職は1人の職種なので、保健に関する判断(ケガや感染症の流行など)をする時はいつも緊張します。

◎保育園に勤務してよかったことは

子どもや若い先生方と一緒に居るので、自分自身も若い気持ちでいられます。何よりも子ども達と一緒にいると楽しいことがたくさんあるので、いつも笑わせてもらっています！

慌ただしい毎日の中でもいつも穏やかな松木先生。そんな先生の姿が、子どもや保護者だけでなく、職員の心のよりどころです。忙しい業務の間に保育士の勉強もされていて、なんと！保育士の資格も取得されました。
保健師としての業務だけでなく、時には遠足の引率やグリーン部の一員として、栽培活動や美化活動など環境整備にも取り組むなど多岐にわたって大活躍です！



おまけ

保育園に勤め始めた時は、今みたいにインターネット等はなく、新聞を切り抜きながら情報を集めていたそうです(↓1996年のO157関連)



園庭開放

毎週月曜日～木曜日
10:30～12:00

ベビーマッサージ

・11月20日(木)
10:00～11:30

***今年度最後です！**

離乳食体験

・11月26日(水)
10:30～
(エプロンなどはお持ちください)

給食体験

・11月21日(金)
11:30～
(エプロンなどはお持ちください)

*園行事などがある為、電話で確認をお願いします。

また、お申し込みは電話でお願い致します。(来園の際は園舎前の駐車場をお使いください)

八王子市石川町3279番地 多摩小ばと保育園 こばとCLUB TEL042(642)9300 担当 宮澤 岩崎

